

第22回木質ボード部会シンポジウム 「原料供給の持続性と新規用途の開発を求めて」

日 時：平成25年10月4日(金)9：50～17：00

会 場：新木場木材会館（東京都江東区新木場1-18）

東京メトロ有楽町線，JR 京葉線，りんかい線「新木場」下車徒歩3分

主 催：（公社）日本木材加工技術協会 木質ボード部会

共 催：日本繊維板工業会

協 賛：（公財）日本住宅・木材技術センター，（公社）日本木材保存協会，

（一社）日本木材学会，（一社）日本ツーバイフォー建築協会，（社）プレハブ建築協会，

（一社）全国木質セメント板工業会，（一社）日本木造住宅産業協会

（公社）日本木材加工技術協会木材・プラスチック複合材部会（順不同）

9：30～9：50 木質ボード部会年次大会

演 題：

10：00～11：00 木造住宅の温熱環境と木質ボード

(地独) 北海道立総合研究機構 森林研究本部 居住環境グループ 研究主任 朝倉 靖弘 氏

11：00～12：20 構造用 MDF と JIS 規格について

(独)森林総合研究所 複合化研究室 室長 渋谷 龍也 氏

(独)森林総合研究所 木質構造居住環境研究室 主任研究員 青木 謙治 氏

12：20～13：00 昼食

13：00～14：00 木材利用ポイントについて

林野庁 林政部 木材利用課 課長 阿部 勲 氏

14：00～14：50 MDF への国産材利用について

エヌ・アンド・イー株式会社 製造部 部長 豊田 大介 氏

14：50～15：00 休憩

15：00～15：45 国産材関連話題提供 3 題

1) 国産材マークについて

林野庁 森林整備部 施工企画調整室 室長 小島 孝文 氏

2) 木質ボードの原料使用実態

日本繊維板工業会 専務理事 瀧川 充朗 氏

3) 京都議定書第二約束期間における HWP の取り扱いと木質ボード

(独)森林総合研究所 木質構造居住環境研究室 主任研究員 恒次 祐子 氏

15：45～16：50 《パネルディスカッション》

テーマ：「国産材の利用促進と木質ボード」

コーディネーター：岩手大学 農学部 教授 関野 登 氏

パネラー：林野庁 小島室長，森林総研 渋谷室長，恒次主任研究員，

日本繊維板工業会 瀧川専務理事

16：50～17：00 総括・閉会

参加費 15,000円

参加申込書を下記宛に FAX いただき，参加費をお振込みください。

入金確認後，受講票を FAX 致しますので当日ご持参ください。

定員 (80名) になり次第，締め切らせていただきます。

振込先 みずほ銀行 八重洲口支店 普通預金2406733 木質ボード部会

事務局 日本繊維板工業会 シンポジウム係 TEL：03-3271-6883 FAX：03-3271-6884

木質ボードシンポジウム参加申込書 (複数連記可)

参加者氏名			
勤 務 先			
勤務先住所	TEL	FAX	E-mail

平成25年 月 日 申込者氏名

